

# らいおんぐるーぷだより

— 1年をふり返って —

一年間遊びや生活の中で様々な経験を通して、力をつけてきた子どもたち。紙面を通して一年間を振り返り、保護者の方と一緒に子どもたちがつけてきた力を感じられたらと思います。



## ドキドキ、わくわく、らいおんぐるーぷでの活動がスタート！！

進級当初は、自分たちがあゆみこども園のなかでいちばん大きくなったことを喜び、期待と自信いっぱい自分でできることをどんどんやってみたり、意欲的に生活を送る子どもたち。今までたてわりクラスで見たり感じていた年上の友だちへの憧れから

「次は、私たちの番！」と張り切る様子がありました。

同年齢の活動のなかで、ドッチボールなどのルールのある集団遊びで、はじめは、ルールを守ってみんなで遊ぶよりもそれぞれの思いが強くてぶつかることもあり、なかなか遊びが楽しめないことがありました。その度に、自分の思いや友だちの思いを聞いたり、言葉で伝えあうことを大切に、個別で話したり、時にはサークルタイムなどでみんなで考えたりしてきました。そんな経験から、自分の気持ちを言葉にして伝え、友だちと折り合いをつけられるように話し合ったり、自分たちでルールをつくったり、ルールを守って遊ぶ楽しさを感じられるようになってきました。

また、遊びで負けた悔しさを強い口調で友だちにぶつけてしまう姿もありましたが、「次はがんばろう」と友だちと励まし合ったり、「次に勝つためにはどうしたらいいかな？」と作戦会議をして考えたりと、友だちと力を合わせて工夫する姿がみられるようになってきました。そのような経験を積み重ねて、同年齢の友だちとの関わりが深まっていきました。

## はっぴーあゆみっこ

ダンスやクイズ、体操など、ステージで同年齢の友だちと取り組んできたことを発表する場をもってきました。ステージに立ちお客さんに見てもらうことで、子どもたちが自分たちで考え進めてきたことを披露し、ドキドキするけれども自信に満ちた表情で発表する姿がありました。

友だちと力を合わせたり、考えを出し合い準備を進めるなかでやり遂げた喜びを感じる機会となりました。

組体操の一人技に挑戦!!  
腕や足の角度をそろえうしろに話したよ!



息の合ったかっこいいダンスを披露したよ!

## あゆみナイトデー

それぞれのクラスのお話でイメージを広げながら楽しんだあゆみナイトデー。期待を膨らませながら準備を進めていく中で、異年齢のなかでリーダーとして進めようとする姿がありました。自分の思いを言葉にしてクラスの友だちに伝えたり、自分の思いを伝えるだけではなく、友だちの思いも聞けるように保育者が仲立ちをしながら思いを伝えあってきました。異年齢の様々な友だちの思いを聞くことで、「みんなで楽しくあゆみナイトデーに参加するにはどうしたらいいかな？」と考え、飾り付けや必要なものを作ったり用意していくなかで、困っている友だちがいた時には「どうしたの？」と声をかけたり、力を合わせて準備を進めていました。

同年齢の活動では、ドッチボール大会を楽しみました。あゆみナイトデーの特別な雰囲気、勝ちたいという思いが強くなり、勝った喜び、負けた悔しさを全身で表現していました。同じチームの友だちと喜びや悔しさを共感しあい、次へと気持ちを切り替えながら話し合いをしていました。あゆみナイトデーを異年齢や同年齢で存分に楽しみ、友だちと遊ぶ楽しさを感じる姿がありました。



ドッジボール大会を楽しんだよ。

シートを広げてみんなで食べるカレーは特別に美味しかったね!



## 魚掴み体験

雨のため残念ながら琵琶湖こどもの国には行けませんでした。園庭にプールを用意して魚つかみ体験をしました。なかなか魚がつかめないお友だちに「こっちにきたよ」「もうちょっと向こう」と応援したり、魚をつかまえるために自分で考えて工夫しながら動こうとしたり、生命あるものに触れるという実体験のなかで、いろいろなことを感じたり考え、たくさんの力を発揮していました。

自分で魚を捕まえて焼いて食べるという過程を経て、命の大切さを感じた子どもたち。魚を食べるのが苦手と感じる子どもたちも、食べてみようとする姿がありました。魚に触れたヌルヌルとした感触や、焼けてきたいい匂い、食べて美味しいと感じた味など、五感を通して自然を感じることができた体験となりました。



泳いでいる魚をつかまえられるかな?

自分たちでつかまえた焼きたての魚は、とても美味しかったよ!





## フラッグ体操『みんないろのせかい』



子どもたちが大好きな歌「みんないろのせかい」にあわせたフラッグ体操。はじめはフラッグを使うことがうれしくそれぞれが好きに動かしていたので、気持ちがひとつにならず、動きがなかなかそろいませんでした。そんなとき、保育者が指摘するのではなく、子どもたち同士で見せあいをしました。すると「ここがそろってなかった」「ここはそろってきれいだったよ」など、伝え合う中で、みんなで力を合わせてフラッグを揃えたいという思いがひとつになり、どんどんフラッグがそろっていきました。

友だちと一緒に、みんなで揃えて、見ている人をびっくりさせたいという共通の目標を持ち、意見を出し合い考えたり、協力することで自信を持って取り組む姿がありました。

当日、大きな会場のなかでも友だちと気持ちをひとつに、素敵なフラッグ体操になりました。後日、自分たちの姿をDVDで見て、「ぼくたちすごい!!」「かっこいい!!」と、自分たちの姿を誇らしげに見ていましたよ。



## 思いをこめてバトンを繋いだりレー



クラス混合での3チーム対抗りレーでは、はじめはそれぞれのペースでバトンをわたすので、流れが止まったり、うまくバトンが繋がらないことがありました。しかし、チーム毎の話し合いの時間を設け、「バトンを渡す時に、名前を呼んでみよう」など、自分たちで考え、力を合わそうとするようになりました。話し合いを重ねる中で、少しずつ自分の思いや気づいたことを言葉にして伝える姿が増え、活気ある話し合いになっていきました。勝ちたい思いから口調が強くなったり、思いがぶつかることもありましたが、自分だけではなく相手にも思いがあることに気づき、伝え方を考えたり、相手の思いにも気づく姿がありました。積み重なった仲間関係が、力強くバトンを渡す姿に繋がりました。

## 発表会

発表会の司会にも挑戦したよ!



劇のなかでの表現を考え、意見を出し合い、子どもたちが主となり、劇遊びの過程を楽しむことで効果音や道具の出し入れの必要性に気づき、自分の担当に責任をもってやりとげようとする姿がありました。また、他のクラスの友だちの劇を見たことで、よいところに気づき、自分たちの劇に取り入れようとしたり、ひとつの劇を完成させようと、気づいたことを伝えあい進めていました。司会や効果音、道具の出し入れも担当し、異年齢のなかで持っている力を存分に発揮し、自分たちでつくりあげた充実感や達成感を感じた子どもたちの満足そうな表情が印象的でした。たてわりクラスの中で、力を存分に発揮するらいおんぐる一ぷの子どもたちの姿が、年下の友だちにとって安心できる存在であり、大きな刺激となり、1つ大きくなることへの期待に繋がっていました。

## 深まった仲間関係で同年齢での活動を楽しもう

山登り遠足や運動会などたくさんのらいおんぐる一ぷでの活動を通して、同年齢での仲間関係が深まってきました。その仲間関係を基盤に2月からは、らいおん1くみ、2くみでの活動がスタートしています。また、小学校への入学が近づき期待が膨らんでいる子どもたち。それと共に1人1人の思いも強くなり子どもたち同士での意見がいつそう活発に飛び交うようになってきました。友だちとの様々な経験を通して、友だちと思いがぶつかった時には自分たちで解決しようと、自分の行動を振り返ったり、友だちの気持ちに寄り添ったり、相手の立場に立って行動する姿が増えてきました。引き続き、友だちと思いがぶつかったときには解決を急ぐのではなく、1人1人が自分の気持ちに折り合いをつけながら、様々な解決方法を模索していくように援助し、子どもたちの持っている力を存分に引き出していきたいと思います。

また、つけてきた力を発揮しながら主体的に遊びや生活に取り組んでいく姿を応援していきたいです。また、小学校への期待を膨らませるなかで、同じ小学校に行く友だちを知り、関わっていくことで、就学に向けた仲間関係も深めています。

ボールまわしゲームをしよう!  
お友だちと遊ぶのが楽しいね!



～☆☆～☆☆～☆☆いよいよ小学生!～☆☆

小学校での新しい生活に「楽しみだな」「ちょっとドキドキするな」といろいろな気持ちを感しながらも、期待を膨らませている子どもたち。3年間の異年齢児保育で、異年齢の友だちと刺激を受け合ったり関わってきた中で、いろいろな遊びや友だちに興味関心を持ち過ぎてきました。友だち同士の関わりの中で、自分だけではなく友だちにも思いがあることに気がついたり、異年齢ならではの関わりの中でつけてきた相手を思いやる気持ちやみんなそれぞれの個性を認め合える力を小学校での新しい生活をつくりあげていく中でも発揮して行ってほしいと思います。

また、プロジェクト保育の様々なテーマを通して、環境や自然などに興味を持ち、興味を持ったことを遊んだり経験する中で広げたり、深めたりしたことで「もっと知りたい」「やってみよう」と、主体性、学びに向かう力をつけてきたと思います。その力を今後の学びに活かして、小学校での生活も存分に楽しんでほしいと思います。

大好きな仲間と一緒に楽しんできた園生活も残りわずかとなりました。

異年齢のなかで力を発揮したり、同年齢の仲間関係を深めるなかで様々なことに挑戦する頼もしい姿であゆみこども園のリーダーとして引っ張ってってくれた子どもたち。あゆみこども園での経験や仲間の存在を胸に、これから出会う新しい仲間を大切にできる力を信じて、残り少なくなった園生活も、元気いっぱい楽しんでいきたいです。

1年間、コロナウイルスの影響もあり、いろいろなことをご協力をいただきありがとうございました。

これからも子どもたちはもちろん保護者のみなさんのことも応援しています。